

せりよさ

好學 道義 根性



ある生徒との出会い

教頭 橋野 勝利

渡辺和子さんの「置かれた場所で咲きなさい」を読んだ後、思い出した生徒がいる。

以前、島の高校に勤めていた時、相撲部の顧問をした。部員はたった一人。練習は中学校の道場で社会人相手であった。練習試合にも行けず、練習相手にすら困る状況であるから、中学の相撲部員は本土の強豪高に進学していく。その中で、地元の高校に進学したのが、たった一人の部員Y君であった。

そんな恵まれない環境の中でもY君は、決して手を抜かず、自分で考え黙々と練習をした。そして、県大会でも九州大会でも必ず好成绩を残した。「先生、わんは、学校の看板を背負っちゃるから、簡単には負けられんよね。」と言った時、彼の強さの秘密がわかった。自分のためだけでなく、応援してくれる学校や町の人たちに喜んでもらいたい。それが彼を支えていたし、応援したいと思わせる人物であった。たとえ負けても練習環境のせいにはしなかった。

相撲の有名強豪大学から全額免除で進学しないかと声がかかり、彼は悩んだ。相談された私が、「自分の高校生活三年間を振り返れば、自ずと答えは出てくるし、自分ですべてにわかっていけるのではないか。」と言うと、翌日「すべきことをしちよけば、どこにおっても相撲の神様は今まで通り、わんを応援してくれるはず。」と勧誘を断り、目標の国立大学進学に向けて努力を続け、見事合格を果たした。進学後、彼は一人で相撲部を作り、近くの高校に練習する土俵を確保し、競技を続けた。そして、インカシの軽量部門で優勝し、アジア大会でも好成绩をあげたのである。

どんな状況でも決してくさらず、前向きにすべきことに取り組む姿勢は、周囲にも勇気を与えてくれる。彼は人間はかくありたいと私を奮起させてくれる生徒の一人である。

センター試験対策夏合宿(沖永良部センター)

進路指導部 太田 陽子

8月2日から2泊3日で「沖高振興事業センター試験対策夏合宿」を実施した。全国のライバルに負けない集中力と持続力、そして勉強体力を養う目的で、一日10時間以上の学習時間が設けられた。



携帯電話が常に手元にあり、勉強に長時間取り組んだことのない生徒達は、「携帯や音楽プレーヤーは一切触れず、集中を切らさない学習が、本当に出来るのか」と不安な気持ちだったが、全員が最後まで参考書や問題集に黙々と取り組んでいた。「集中して勉強し

夏トライグレードアップゼミ

8月上旬、鹿児島中央高校で2年生の学力向上を目指す「夏トライグレードアップ・ゼミ」が開催され、本校から7名、県下から30名が参加した。本校生も猛暑の中、緊張しながらも意欲的に授業に取り組んでいた。またゼミ後の交流会等を通して他校生と親交も深めたようだ。「他校の生徒と話ができるか不安だったが、交流会で仲良くなれた。」「難しいと思った問題をすらすらと解いているのを見て、自分ももっと頑張ろうと思った。」など大いに刺激を受けていた。

鹿児島大学のオープンキャンパスでは、学問がどのように実社会に役立っているかを考える良い機会となった。

最後に、和泊・知名両町の沖高教育振興事業に心より感謝し、またとない体験を、今後の学習に生かして欲しい。

沖高の応援団

関西沖高同窓会 濱田可次先生

旧職員員の濱田可次先生から、図書館に多くの書籍が届いた。手紙には「オンラインワンとして、偉大な足跡を残した先人の生き様に思いを重ね寄せ、自己実現に邁進する生徒諸君が澎湃(ほうはい)として、みなぎる学校であることを心から

たので、時間が過ぎるのがあつという間に感じられた。これからも時間を有効に使いたい。」「勉強が終わる前は、みんな疲れていたが、頑張った顔をしていて、良い雰囲気だった。」などの感想が聞かれ、自己の勉強方法を見直し、受験と共に乗り越えるための団結力も身に付けたのではないだろうか。

今春の大島高校の離島勢初の甲子園出場は、奄美群島全体を元気にした。離島ゆえ沖高生には、学習環境に様々な困難はあるだろう。だが私達には、和泊・知名両町の振興事業をはじめ、研修センターのサポート、そして協力応援して下さる温かい島の人々がいる。次は自分たちが、自ら目標・目的を掲げ、しっかりと受験勉強していこう。沖高生のやる気は、沖永良部島全体を元気にする力があるのだから。

ジュニアリーダー研修会(大久保花音)

7月23、25日、三島瑠花さんと長田千明さんと奄美市で大島地区ジュニアリーダー研修会に参加した。印象深かったのは、KYT(危険予知トレーニング)である。仲間と真剣に話し合う経験はためになった。次に大島紬の泥染体験は、簡単だと思っていたが、多くの行程と時間を要し大変だった。そして最後は、様々な種類がある中から、一人一人に似合う大島紬を着せていただき、とても嬉しかった。3日間を通して、リーダーとしての役割や責任、郷土の素晴らしさ、時間を守ることに友情の大切さ、協力することの貴重体験を、学校生活や将来にいかしていかように励みたい。



祈念します。」と書かれていた。また関西同窓会からは、今年も63名の方から母校支援金が届き、早速3年生には新品のウォータークーラーが大活躍している。このように島内はもちろん島外にも沖高を愛し、応援してくださる方は多いのだ。この気持ちに伝えるためにも、生徒諸君と共に一層頑張らなければならぬ。

2年3組紹介(委員長福田将明)

2年3組は男子19名、女子19名、担任は商業の岩切先生、副担任は田代先生と水口先生だ。個性的なメンバー揃いの明るく元気なクラスだ。9月に情報処理検定を控え、朝課外や放課後、休日返上で全員合格を目標にしている。

2年生は気が緩みやすい学年だが、勉強と部活動をしっかりと両立させ、進路も考えたい。3年間同じクラスメイトの私たちが、委員長を中心に協力しながら盛り上げるのがあるクラスを目指している。修学旅行など学校行事を通してより絆を深めていきたい。2年3組らしく頑張りたい。



野球部紹介(部長安田和樹)

野球部は前田監督と田上部長のもと、2年生3名・1年生9名・マネージャー1名の計13名で活動している。昨年のこの時期は、部員不足で古仁屋高との連合を組んでいたが、今年は単独チームで、充実した練習をしている。

先日の地区大会では、喜界高と対戦した。初回からチャンスを作りピッチャーも粘りのピッチングができていたが、4対1で負けてしまった。敗因は、ここぞという場面での一本が出なかった事だ。また一年生大会は、大島高との決勝で、けが人が多く大敗を喫し、課題を残した。秋の県大会では、課題を修正し、九州大会を目指して更に努力したい。



9月行事予定表

- 1 月 始業式 服装容儀検査 ③④⑤①授業
- 2 月 1・2年学年練習③④ 3年学年練習⑤①
- 3 月 全体練習(全学年)⑤⑥ 7限(LHR)
- 4 月 1年学年練習⑤⑥ 2年学年練習③④ 健康相談 役員打合せ
- 5 月 3年学年練習③④ 全体練習(全学年)⑤⑥⑦ 5金1・2年学年練習③④ 会場設営(全学年)⑤⑥
- 6 土 体育祭予行午前 45分授業午後⑥火⑥
- 7 日 第62回体育祭
- 8 日 体育祭予行振休
- 9 日 体育祭振休
- 10 水 45分授業 安全点検日 1・2年模試検討会
- 11 木 学年会
- 12 金 学年会
- 13 土 土曜課外
- 14 日 敬老の日
- 15 日 敬老の日
- 16 火 1・2年進路希望調査
- 17 水 交通安全の日 車体検査
- 18 木 火曜授業 LHR (2普は琉大説明会)
- 19 金 進研マーク(3普)
- 20 土 進研マーク(3普)
- 21 日 進研マーク(3普)
- 22 月 学科朝礼
- 23 火 秋分の日
- 24 水 45分授業
- 25 木 職員研修(教育相談)
- 26 金 45分授業
- 27 土 情報処理検定
- 28 日 情報処理検定
- 29 月 学年朝礼
- 30 火 学年朝礼

